

学生の部活動等の根拠不透明な活動停止反対

請願・依頼の回答

- 回答日付 令和4年3月17日
- 姓名前 西洋介
- 連絡先 099-216-1435

依頼① 上記内容について、議員連名の請願として賛同できるか 回答

別紙

依頼② 上記内容についてのご意見、ご見解 回答

別紙

FAX 送付先 099-225-7501

依頼①

賛同します。

依頼②

私も陸上部出身であり、現在もランニングを続けています。

私にとって、部活動を通じた経験で得た、継続、忍耐、挑戦など様々な人間力は大きな糧になっております。もちろん学校での学問も大切だとは思いますが、それ以上に人生の大切なことは部活動で学べると言っても過言ではないと思っております。

この前提に立って私の見解を申し述べます。

現在（令和4年3月）の新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置等における部活動の停止に関しては、根拠があると思っております。

現状、新型コロナウイルスに関しては十分な研究がなされておらず、より一層の研究の進展で、今以上に有効なワクチンや薬品などが一刻も早く望まれております。まだまだ未知の部分も多くあるようです。そのため現状わかっている範囲での緊急的な感染予防の措置を取らざるを得ないのが現実であると思慮しています。

現状ははっきりしているのは人の飛沫やより小さなマイクロ飛沫により感染をするということです。それを鑑みるに人と人との接触を可能な限り少なくすることが感染拡大を防ぐことに疑問の余地はないのではないのでしょうか。

そのために飲食店の時短営業を要請するなどして人流を抑制しているのだと思います。その他においても不要不急な外出や観光などを自粛をお願いしているのも同様な理由であると考えます。

しかしながら生活や社会において欠くことのできない活動は感染対策に配慮しながら行わなければなりません。

そう考えた場合、学生等の学校生活等においては、授業などのいわゆる学校教育が、部活動よりも優先されることは、憲法に定められた、教育を受ける権利や教育を受けさせる義務からも明確だと思います。また競技によって屋外競技などは換気ができるから大丈夫との意見もありますが、競技毎に部活動停止を分けた場合、学生等に不公平感が出るのは否めません。

それらを総合的に考慮して、まん延防止等重点措置等における部活動の停止という判断になっていると理解している次第です。

誠に残念で、毎日部活動だけを楽しみに学校に行っていた私の経験から想像しても、同じような学生等の気持ちを考えると辛く、やるせない気持ちになります。

今後、研究の成果として科学的根拠が進めば、屋内屋外の違いや競技等の違いによって、感染リスクに差があることも明確になれば、競技等の違いで部活動の停止が分けられてくるかもしれません。

一刻も早く研究が進み、感染予防や治療法などが確立されていくことを切望すると共に、全ての学生等が平穏な教育環境の下で、生活できるよう、微力ながら鹿児島市議会議員としての責務を果たしていきたいと思っております。